

2009 年度

Okayama – Kasetsart International Practical Environmental Education Program(GP 特別コース)

岡山大学環境理工学部・農学部／タイ国カセサート大学

1. 概要

夏季休暇中(タイ、日本で各2週間)、2年生を対象に「GP特別コース」を開講しました。タイ国のカセサート大学では、2009年度は8月16日～29日にかけて実施されました。各年とも期間中、岡山大学環境理工学部の学生6名はカセサート大学の学生5名とともに天然資源や環境問題を考えるうえで重要となる環境経済学や環境保全活動の実践教育を受けました。また、岡山大学環境理工学部においても同様に、9月6日～20日(2009)の期間、両国の学生は「人間活動と水環境」をテーマに講義演習を受けました。

本コースの基盤となっている現代GPの取り組みでは、データの収集と解析力(Analysis of Data)、体系的な思考力(Thought)、問題解決のための計画性(Plan)、行動力(Action)そしてコミュニケーション能力(Communication)を付加した ADTPAC 水環境スペシャリストを、晴れの国である岡山より輩出することを目論んでいます。特に本コースでは英語で講義実習を受けることで生きた英語を学び、カセサート大学の教員・学生を通して環境学や異文化に接することにより、コミュニケーション能力と体系的な思考力を鍛えることを目的としています。



タイ国カセサート大学・バンケンキャンパス (バンコク)

2. タイ国での講義風景



左の写真はアカデミックコーディネーターである Dr.Penporn 先生による講義風景です。カセサート大学における講義は、天然資源や環境に関連する経済の概念や理論の理解を目的としています。講義は昼休憩を挟んで午前9時から16時まで、期間中で計45時間行われました。

右の写真はお互いの国の環境問題を紹介するプレゼンテーションの準備風景です。本コースにおいては、タイと日本の学生がそれぞれの国における環境問題について議論を交わすことで、国の枠を超えて環境問題を体系的に考え、コミュニケーション能力を高めることを狙いの一つとしています。



3. タイ国での実習風景



日本において顕在化している水質汚濁の問題はタイにおいても例外ではなく、水生植物やマングローブ林などの自然の力を利用した水質浄化プロジェクトが推進されていました。

日本では馴染みの薄いマングローブ林ですが、熱帯に位置するタイでは生物多様性豊かな湿地生態系の基盤となっています。近年のマングローブ林の消失は、沿岸漁業に深刻な影響を与えており、地域社会が主体となって、マングローブ林と漁業資源の保護を目的とした活動が展開されています。



タイは主要な電力生産源を天然ガスに大きく依存しており、再生可能なエネルギー源を活用した電力生産手段に注目が集まっています。ここでは灌漑用水の確保やレクリエーションなど、水力発電のみならず多面的な機能を有するダムを見学し、ダム建設に伴う良い面、悪い面の双方から環境への影響について考えることが出来ました。



4. タイ国でのレクリエーション



5. 日本での講義風景



岡山大学環境理工学部での講義風景です。日本では「人間活動と水環境」をテーマに掲げ、水環境に関わりのある学問領域から多くの講師が講義を担当して**実践教育**を実施しました。タイ国カセサート大学と同様に期間中で計45時間を受講しました。

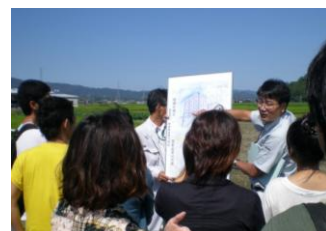
タイで学んだ内容をまとめ、英語でプレゼンテーションを行いました。発表の準備には専門用語を含めた高いレベルでのコミュニケーション能力とともに、全体を総合して体系的に捉える能力が必要となり、学生にとって良い機会になりました。



6. 日本での実習風景



倉敷市玉島平野に位置する溜川において、水環境の改善活動に取り組んでいるNPO法人「溜川を美しい川にする会」の皆様のご指導のもと、地元の中高生らと共にセミナーを行いました。現地では溜川を地域の財産と位置付け、地域住民が主体となって改善活動に取り組まれており、水環境改善活動における地域連携の重要性を学ぶことができました。



中国四国農政局・岡山南部農業水利事務所の職員の方々にご協力頂き、湛井十二ヶ郷用水路を見学しました。岡山南部地域における水利開発、土地基盤整備の歴史を学ぶことで、効率的で安定的かつ地域の生態系・景観に配慮した田園環境の保全・創造への取り組みを知ることが出来ました。



岡山大学環境理工学部棟の東に水循環施設が完成しました。この施設は本コースの基盤となっている現代GPの取り組みで、自然環境の復元とその後の維持管理の2段階の実践教育を行うために活用しています。2009年度は完成した水循環施設と岡山県南部に位置する児島湖で水質調査を実施しました。水循環施設で得られた結果を富栄養湖である児島湖と比較検討して発表することで、実践的に自然環境の機能を学ぶことができました。



7. 日本でのレクリエーション



6. 修了証書授与式



カセサート大学及び岡山大学にて举行了修了証書授与式の様子です。受講者には日本とタイでそれぞれ試験が課せられ、合格者には各3単位の計6単位が付与されます。2008年、2009年ともに受講者全員が最終試験に合格し、2年間で20名以上の修了生を輩出することが出来ました。